参考資料

参考 I 户田市移動等円滑化促進方針策定協議会 要綱

戸田市移動等円滑化促進方針策定協議会 要綱

令和2年1月21日市長決裁

(設置)

第1条 高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律(平成18年 法律第91号) 第24条の2に基づく戸田市移動等円滑化促進方針(以下 「促進方針」という。)を策定するため、同法第24条の4に規定する戸田 市移動等円滑化促進方針策定協議会(以下「協議会」という。)を置く。

(所掌事務)

- 第2条 協議会は、次に掲げる事項について協議する。
- (1) 促進方針の策定に関すること。
 - (2) その他促進方針の策定に関し必要な事項

(組織)

第3条 協議会の委員は、別表第1の委員をもって組織し、市長が委嘱又は任命をする。

(任期)

- 第4条 委員の任期は1年とし、再任を妨げない。
- 2 委員に欠員が生じた場合の補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。 (会長及び副会長)
- 第5条 協議会に会長及び副会長を置く。
- 2 会長及び副会長は、学識経験者の中から選出する。
- 3 会長は委員の互選によるものとし、副会長は会長が指名する。
- 4 会長は、会務を総理し、協議会を代表する。
- 5 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。

(会議)

- 第6条 協議会の会議(以下「会議」という。)は、会長が招集し、その議長となる。ただし、会長が選出される前に招集する会議は、市長が招集する。
- 2 会議は、委員の半数以上の出席がなければ開くことができない。
- 3 会議の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、会長の決するところによる。

- 4 別表第1の2の項から9の項までに規定する委員が会議に出席できないときは、当該委員が委任状(別記様式)にて指名する者が代理として出席できるものとし、同表の10の項に規定する委員が会議に出席できないときは、当該委員の指名する職員(同じ所属の職員とする。)が代理として出席できるものとする。
- 5 会長は、必要があると認めるときは、会議に関係者の出席を求め、説明又は意見を聴くことができる。

(協議結果の報告)

第7条 会長は、第2条に掲げる事項の協議を完了したときは、その結果を市 長に報告するものとする。

(謝金)

第8条 会長及び副会長の謝金として、別表第2に定める額を予算の範囲内で 支払うものとする。

(庶務)

第9条 協議会の庶務は、都市整備部まちづくり推進課において処理する。 (その他)

第10条 この要綱に定めるもののほか必要な事項は、会長が定める。

附則

(施行期日)

1 この要綱は、令和2年1月21日から施行する。

(この要綱の失効)

2 この要綱は、促進方針を策定した日限り、その効力を失う。

別表第1 (第3条関係)

		団体・組織名	人数
1	学識経験者		2
2	障害者団体	戸田市身体障害者福祉会	2
		戸田市心身しょうがい児(者)を守る会	1
		戸田市聴力障害者協会	1
3	高齢者団体	戸田市老人クラブ連合会	1
4	子育て支援団体	ぴあママ	1
5 地域活動団体		社会福祉法人戸田市社会福祉協議会	1
		戸田市町会連合会	1
		戸田市商工会	1
		戸田市民生委員・児童委員	1
6	関係行政機関	国土交通省関東運輸局交通政策部消費者行政・情報課	1
		埼玉県企画財政部交通政策課	1
		埼玉県県土整備部道路環境課	1
		埼玉県都市整備部都市計画課	1
7	施設設置管理者	国土交通省関東地方整備局大宮国道事務所	1
		国土交通省関東地方整備局北首都国道事務所	1
		埼玉県さいたま県土整備事務所	1
8	公共交通事業者	東日本旅客鉄道株式会社大宮支社	1
		国際興業株式会社	1
		一般社団法人埼玉県乗用自動車協会	1
9	公安委員会	埼玉県蕨警察署	1
1 0	市		6

別表第2 (第8条関係)

役職等	金額 (円)
会長	14,000
副会長	13,500

別紙(第6条関係)

委 任 状

年 .	月	日
-----	---	---

/ J	• •	H	-	١
しゟ	77.	ナ	┌;	J

戸田市移動等円滑化促進方針策定協議会会長

団体・	
組織名	
氏 名	
	※自署の場合は、押印不要

私は、同団体・組織の(代理人の職・氏名) _________ を代理人と定め、下記事項について代理人へ委任します。

記

・第 回戸田市移動等円滑化促進方針策定協議会における議決について

参考2 戸田市移動等円滑化促進方針策定協議会 委員名簿

No	区分		氏名		
1	ك -₩ <i>⟨</i> ∇ ғ∕-ҳ	埼玉大学大学院 理	工学研究科 環境科学・社会基盤部門	久保田 尚	
2	学識経験者	東洋大学 ライフデサ	菅原 麻衣子		
3			戸田市身体障害者福祉会(身体障害)	猫本力	
4	障害者団体	戸田市障害者施策	戸田市身体障害者福祉会(視覚障害)	青木 真由美	
5	中占 有凹体	推進協議会	戸田市心身しょうがい児(者)を守る親の会	内海 靖美	
6			戸田市聴力障害者協会	永住 晶子	
7	高齢者団体	戸田市老人クラブ連	合会	金子 一雄	
8	子育て支援団体	ぴあママ		萩原 ゆかり	
9		社会福祉法人 戸田	市社会福祉協議会	飯田 直子	
10	地域活動団体	戸田市町会連合会		細井 幸雄	
11	地 以石 <u></u> 到凹体	戸田市商工会	横田 秀子		
12		戸田市民生委員・児	小山 昌彦		
13		国土交通省 関東運輸局 交通政策部 消費者行政·情報課		遠藤幸	
14	関係行政機関	埼玉県 企画財政部	浪江 治		
15		埼玉県 県土整備部	落合 誠		
16		埼玉県 都市整備部	鳴海 太郎		
17		国土交通省 関東地	田中 倫英		
18	施設設置管理者	国土交通省 関東地	佐藤 眞平		
19		埼玉県さいたま県土	金子 勉		
20		東日本旅客鉄道株式会社大宮支社		佃 晋太郎	
21	公共交通事業者	国際興業株式会社	国際興業株式会社		
22		一般社団法人 埼玉	藤田 茂		
23	公安委員会	埼玉県蕨警察署		中村 裕嗣	
24		財務部		駒崎 稔	
25		市民生活部	櫻井 聡		
26	±	環境経済部	吉野 博司		
27	市	福祉部		久川 理恵	
28		こども青少年部		松山 由紀	
29		都市整備部	小森 敏		

参考3 市民アンケート調査の結果(抜粋)

1.調査の概要

市内のバリアフリー対策を推進するにあたり、施設の利用状況やバリアフリーに関する意識を 把握するためのアンケート調査を実施しました。

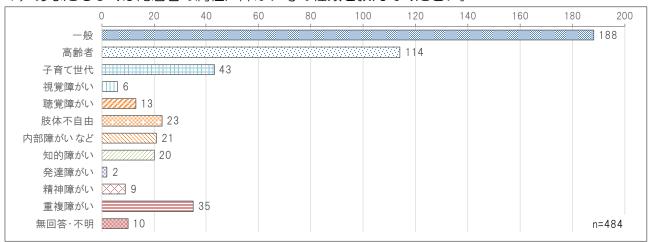
表 アンケート調査の概要

対象者	◆ 一般市民 住民基本台帳よりランダム抽出	◆ 関係団体 障がい者支援団体・高齢者団体・ 子育て支援団体・乳幼児健診参加者			
配 付	郵送配付·郵送回収:1,000票	団体配付・団体又は郵送回収:300票			
調査期間	令和元年 11 月 30 日から 12 月 16 日まで				
	484 票(回収率 37.2%)				
回収	300 票(回収率 30.0%)	184 票(回収率 61.3%)			
調査項目	・個人属性 ・主要な交通手段、よく利用する施・駅・バス・タクシー・道路などの・移動や施設の利用時の困りごと・避難する場所の認知度、災害時の・心のバリアフリーの認知度、意識・情報のバリアフリー・バリアフリ・公共サインの満足度・困りごと・その他自由意見	バリアフリー状況への満足度 バリアフリー上の不安、災害時への対策 、行動、施策、意見			

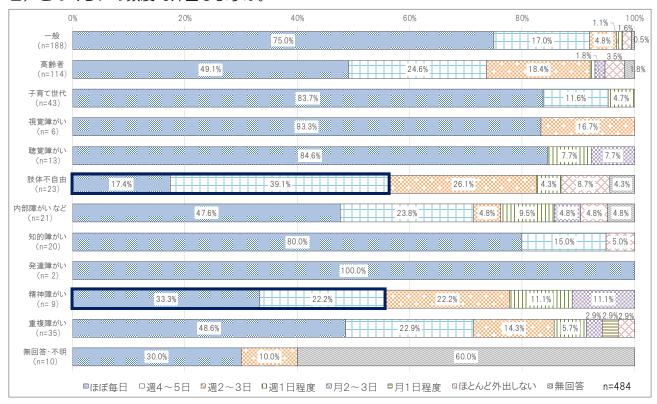
2. 調査結果

設問 | ご自身のことについて

1) あなたもしくは同居者の属性/障がい等の種類を教えてください。



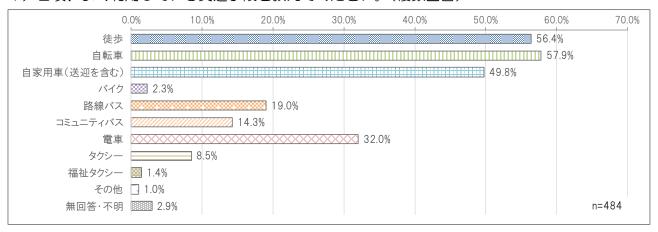
2) どのくらいの頻度で外出しますか。



- ・回答者は、一般の方(他の属性に当てはまらない方)が約4割、障がい者が約3割、高齢者が約2割、子育て世代が約1割。
- •全ての属性で外出頻度は高いが、<u>肢体不自由者と精神障がい者では週4日以上外出している方</u>は6割以下である。

設問2 市内での移動手段や利用する施設について

1)日頃、よく利用している交通手段を教えてください。(複数回答)



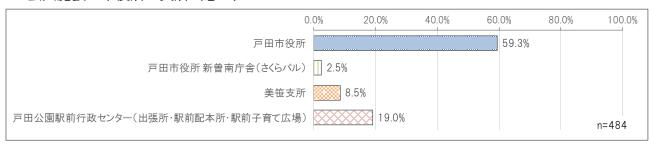
2) 日頃、最も利用する駅を教えてください。



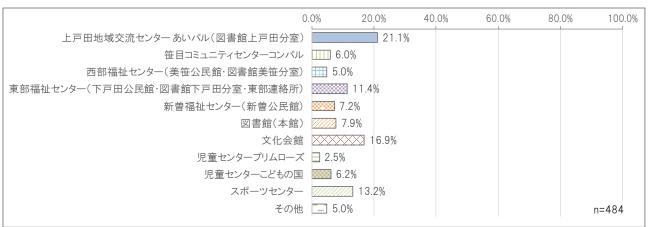
- ・回答者の約6割程度が徒歩・自転車、約3割が鉄道、2割が路線バスを利用している。
- ・回答者の約5割が戸田公園駅、約2割が戸田駅を最も日常的に利用している。

3)日常的に利用する施設名を教えてください。(それぞれ3つまで〇)

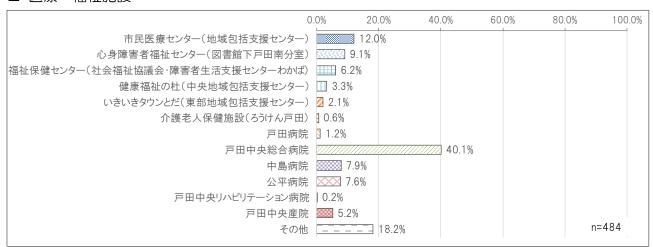
■ 公共施設:市役所・支所(窓口)



■ 公共施設:文化・教養・スポーツ施設



■ 医療・福祉施設

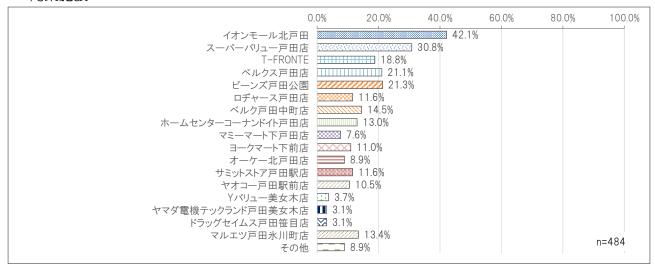


■ 障がい別に見たよく利用されている施設(公共施設、医療・福祉施設)

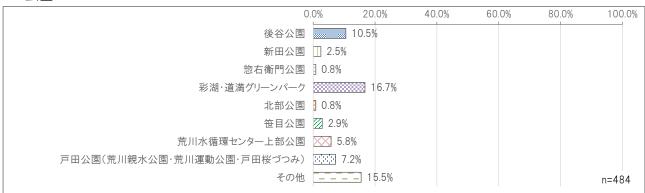
	戸田市役所	戸田公園駅前 行政センター	上戸田地域交流 センター あいパル	文化会館	市民医療センター	心身障害者 福祉センター	戸田中央総合病院
一般 (n=188)	59.0%	23.9%	17.6%	15.4%	9.0%	5.3%	38.3%
高齢者(n=114)	59.6%	14.9%	19.3%	21.1%	13.2%	1.8%	43.0%
子育て世代(n=43)	51.2%	32.6%	37.2%	2.3%	16.3%	9.3%	27.9%
視覚障がい (n= 6)	83.3%	0.0%	33.3%	33.3%	33.3%	16.7%	50.0%
聴覚障がい (n=13)	69.2%	30.8%	46.2%	0.0%	0.0%	53.8%	53.8%
肢体不自由(n=23)	52.2%	17.4%	8.7%	26.1%	21.7%	30.4%	52.2%
内部障がい など (n=21)	47.6%	4.8%	9.5%	23.8%	9.5%	4.8%	61.9%
知的障がい (n=20)	70.0%	10.0%	30.0%	30.0%	15.0%	20.0%	30.0%
発達障がい (n= 2)	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	50.0%
精神障がい (n= 9)	88.9%	0.0%	11.1%	11.1%	22.2%	11.1%	11.1%
重複障がい (n=35)	68.6%	11.4%	25.7%	20.0%	14.3%	14.3%	48.6%
無回答·不明(n=10)	30.0%	10.0%	30.0%	10.0%	0.0%	10.0%	10.0%
全体の割合	59.3%	19.0%	21.1%	16.9%	12.0%	9.1%	40.1%

※赤色セル:全体の割合より利用率が5%以上高いもの

■ 商業施設



■ 公園



■ 障がい別に見たよく利用されている施設(商業施設、公園)

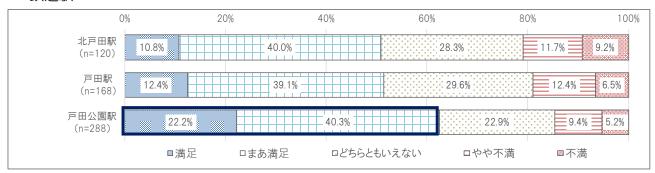
	イオンモール 北戸田	スーパーバリュー 戸田店	T-FRONTE	ベルクス戸田店	ビーンズ戸田公園	彩湖・道満 グリーンパーク	荒川水循環センター 上部公園
一般 (n=188)	46.8%	35.1%	21.3%	20.2%	27.7%	18.6%	2.7%
高齢者(n=114)	39.5%	33.3%	9.6%	22.8%	14.0%	14.9%	8.8%
子育て世代(n=43)	48.8%	39.5%	39.5%	23.3%	34.9%	25.6%	14.0%
視覚障がい (n= 6)	66.7%	33.3%	33.3%	33.3%	16.7%	16.7%	16.7%
聴覚障がい (n=13)	7.7%	30.8%	15.4%	46.2%	38.5%	7.7%	7.7%
肢体不自由(n=23)	39.1%	17.4%	4.3%	30.4%	4.3%	8.7%	4.3%
内部障がい など (n=21)	28.6%	14.3%	4.8%	4.8%	9.5%	19.0%	4.8%
知的障がい (n=20)	45.0%	20.0%	15.0%	20.0%	20.0%	15.0%	5.0%
発達障がい (n= 2)	50.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%
精神障がい (n= 9)	33.3%	11.1%	11.1%	22.2%	11.1%	0.0%	0.0%
重複障がい (n=35)	45.7%	25.7%	31.4%	11.4%	17.1%	20.0%	2.9%
無回答·不明(n=10)	10.0%	10.0%	10.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%
全体の割合	42.1%	30.8%	18.8%	21.1%	21.3%	16.7%	5.8%

※赤色セル:全体の割合より利用率が5%以上高いもの

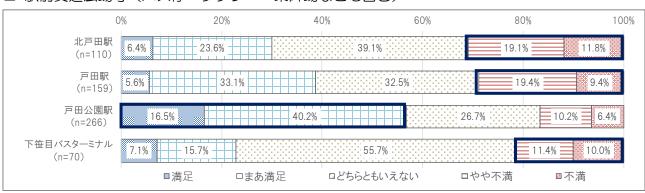
- ・回答者の <u>約4割以上が利用している施設は、戸田市役所・戸田中央総合病院・イオンモール北</u> <u>戸田</u>。
- •回答者の約3割が利用している施設はスーパーバリュー戸田店、約2割が利用している施設は、戸田公園駅前行政センター・上戸田地域交流センター あいパル・文化会館・T-FRONTE・ベルクス戸田店・ビーンズ戸田公園・彩湖・道満グリーンパーク。
- •日常的に利用されている施設は、<u>市役所や大型の商業施設・病院・公園が多い</u>。戸田市役所・ 心身障害者福祉センター・戸田中央総合病院では、特に障がい者の利用割合が一般の利用者 より高い傾向がある。

設問3 市内のバリアフリー状況に関する満足度について (無回答・不明を除いて集計)

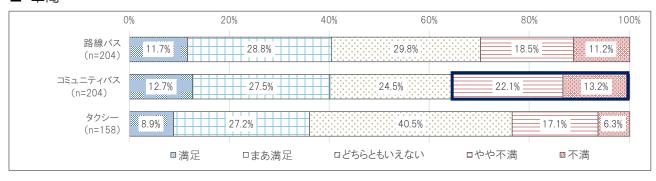
■ 鉄道駅



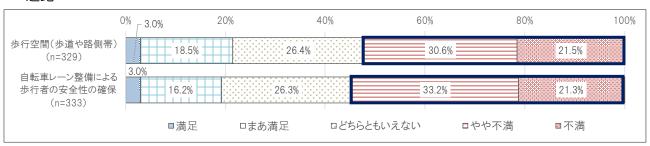
■ 駅前交通広場等(バス停・タクシー・乗降場なども含む)



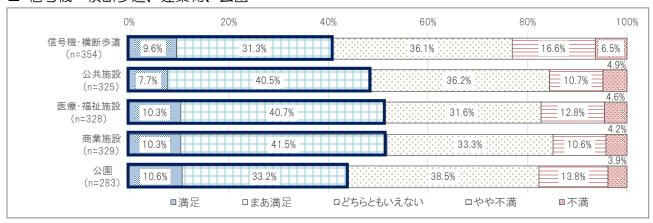
■ 車両



■ 道路



■ 信号機・横断歩道、建築物、公園



- ・戸田公園駅は駅前交通広場も含めて約6割と満足度が高いが、<u>北戸田駅前交通広場・戸田駅前</u> 交通広場・下笹目バスターミナルの満足度は2割~3割と満足度が低い。
- 車両は、<u>全体的に約4割は満足</u>しているが、<u>コミュニティバスについては約4割が不満</u>を感じている。
- ・ 道路は回答者の約半数以上が不満 を感じている。
- ・建築物は約5割、信号機・横断歩道、公園については約4割が満足と感じている。

設問4 市内のバリアフリーの課題について

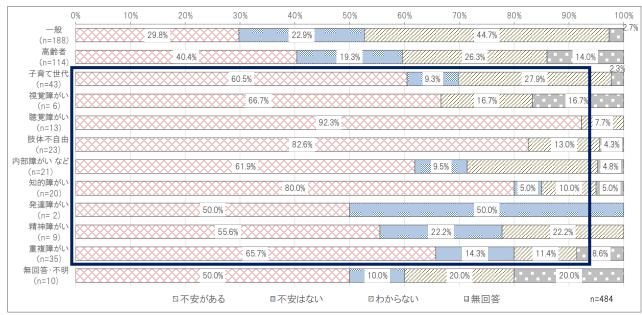
■ 移動や施設を利用する際にバリアフリーの視点から困りごとがあれば教えてください。

項目	主な意見
鉄道駅	 ・ホームドアが未整備のため、設置してほしい。 ・戸田公園駅の拡幅改札口が 1 箇所のみのため、混雑時にベビーカーが利用できないことが多い。一般改札では狭くてぶつかってしまう。 ・戸田駅に下りエスカレーターがなく不便である。 ・エレベーターが狭い。台数が少ない。 ・文字情報が少なく、遅延や事故等の緊急情報がわからない。
駅前交通広場・バスターミナル	・全ての駅前で段差が多く、歩道が狭いところがある。・鉄道駅からバス乗降場やタクシー乗降場に向かうまでに屋根がない。・車いす使用者専用のトイレがない。・休憩用のベンチが少ない。
路線バス	・ノンステップバスは乗降しやすいが、ノンステップバスでない車両がある・ベビーカーを畳みながら子どもと一緒に乗車しにくく、バス利用が不便。・乗降口の幅が狭く、ベビーカーが入れにくい。
コミュニティバス	・出入口の段差をなくしてほしい。・車内が狭いため、車いすやベビーカーでの利用がしにくい。・ベビーカーで乗降する際、ベビーカーを畳んでから子どもを乗降させる ため、サポートがほしい。
タクシー	・UD タクシーが少ない。一般的な車両では高齢者の乗降が大変である。 ・運転手の対応に差がある。
道路 (歩道、路側帯、 自転車レーン等)	・歩道が狭い。・歩道の段差や傾斜が多く、車いすやベビーカーで通行する際にがたつき、 つまずいてしまう。・自転車レーンの利用マナーが悪い。レーン上に停車している車が多い。
信号機•横断歩道	・音響式信号機が少ない(特に大きな道路)。・横断歩道と歩道に段差があり、車いすやベビーカーでつまずくことがある。
建築物 (公共施設、 医療・福祉施設、 商業施設)	 ・小中学校にエレベーターがない。 ・エレベーターが混雑しており、車いすやベビーカーで利用する際に待ち時間が長い。 ・緊急情報に関する視覚的情報がない。 ・おむつ交換台だけでなく、大人用のベッドを設置してほしい。
駐車場 (一時利用)	・駐車ますの幅員や奥行きが狭い。 ・障がい者専用駐車ますに一般利用者が駐車しており、利用できない。 ・屋外駐車場の場合、障がい者専用駐車場には屋根をつけてほしい。
公園•緑地	・出入口が狭い公園がある。・トイレは洋式でないと高齢者や障がい者が利用しにくい。・障がい者専用駐車場を整備してほしい。
その他	・災害時に安全に避難・生活できるための対策をしてほしい。・車いす使用者が 1 人で利用できる施設などが少ない。・スーパーのレジが自動化されてから使いにくい。

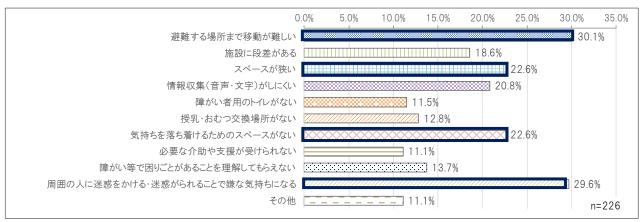
- ・<u>子育て世代は、バス乗降時</u>の負担から利用を躊躇する傾向がある。車いす使用者と同様に、 サポートを求める声がある。
- 歩道が狭く、傾斜や凸凹による移動の不便さが、道路における不満が高い要因になっている。

設問5 災害時のバリアフリーについて

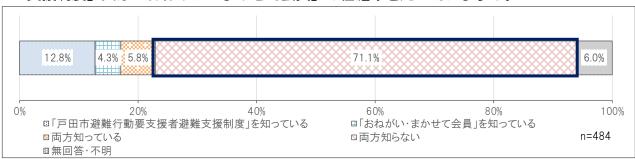
1)災害時に避難する際、移動や避難所等での生活について、バリアフリー上の不安はありますか。



2) 1) で「不安がある」とお答えの方は、どのような点が不安か教えてください。



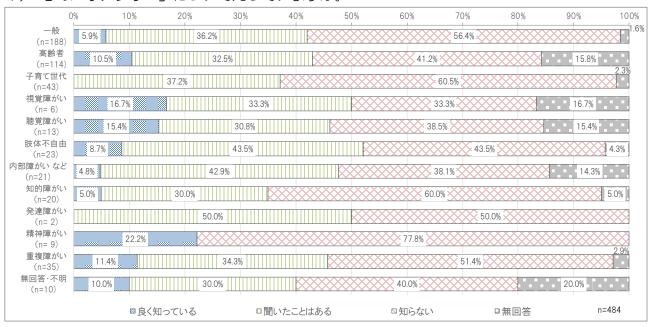
3) 災害時にひとりで避難行動をとることが難しい人を支援する「戸田市避難行動要支援者避難支援制度」又は「おねがい・まかせて会員」の仕組みを知っていますか。



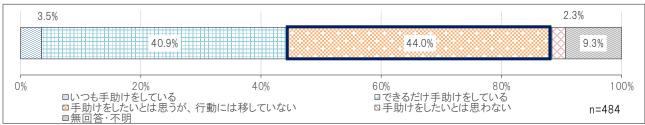
- ・子育て世代・障がい者の半数以上が災害時の避難に不安 を感じている。
- 主な不安点は、避難する場所までの移動や避難所等のスペース、周囲の人との関係である。
- ・ 災害時の市民共助に関する仕組みについては、約7割の方が認知していない。

設問6 心のバリアフリーについて

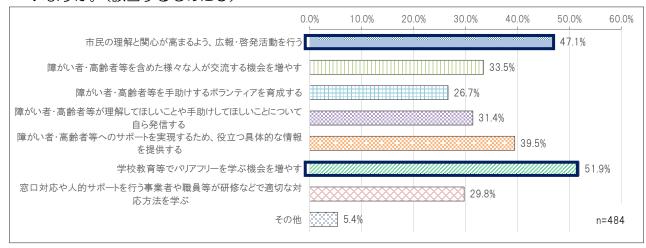
1)「心のバリアフリー」について知っていますか。



2) あなたは、外出の際、車いすの方が段差で進めなくなっていたり、視覚障がいを持っている方が駅で迷っていたりした場合、声をかけて手助けをしていますか。



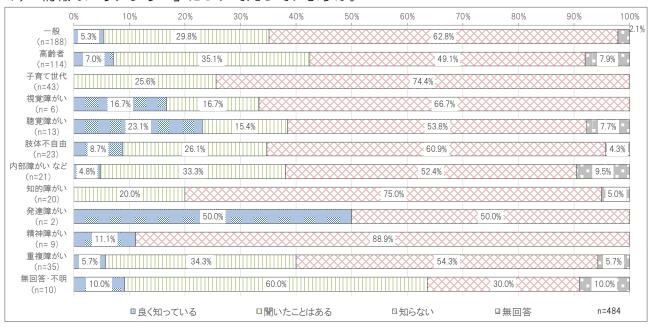
3) あなたは「心のバリアフリー」を実現していくために、これからどのようなことが必要だと思いますか。(該当するものに〇)



- •「心のバリアフリー」は、よく知っている方は全体の1割以下と認知度が低い。
- 回答者のうち約 4 割が障がい者などへできるだけ手助けをしているが、反対に <u>手助けができていない方も約4割</u>。
- ・心のバリアフリーを実現するために必要と思われることは、<u>「広報・啓発活動」や「学校教</u>育等の学ぶ機会を増やす」が約5割。

設問7 情報のバリアフリーについて

1)「情報のバリアフリー」について知っていますか。



2) バリアフリーマップについて知っていますか。



回答の傾向

・全体的に「情報のバリアフリー」や「バリアフリーマップ」の <u>認知度は低い傾向</u> にあるが、 視覚障がい者や聴覚障がい者、重複障がい者は半数以上がバリアフリーマップを認知 している。

■ 自由意見

- 実際に自分や両親等が障がいを持って、初めて不便さに気付いた。歩道の段差や傾斜など、 安心して生活できるまちにしてほしい。
- 障がい者や高齢者、子ども連れなど、困っている方への手助けができる人とつながれる活動があると良い。共生社会として必要と考える。

参考4 まち歩きワークショップの実施概要と主な意見

1. 実施概要

まち歩きワークショップの実施概要について、以下に示します。

日程	令和2年10月14日(水) 13:00~17:00
参加者	市民参加者:12名 事務局:10名 菅原副会長(意見共有時)、傍聴者1名(意見交換会)
内容	 ・資料説明(開催目的、当日の進め方など) ・現地視察(北戸田駅班、戸田駅班、戸田公園駅班の3班で実施) ・意見交換(各班で実施) ※実施場所:戸田市役所(北戸田駅班・戸田駅班)、あいパル(戸田公園駅班) ・意見共有(リモート通信で2会場を接続し、意見交換の内容を発表)

≪実施状況≫



説明風景



現地視察:公衆トイレ



現地視察:市役所南通り



現地視察:医療施設



意見交換



意見共有:説明風景

2. 現地視察の対象地区

現地視察は、北戸田駅周辺、戸田駅周辺、戸田公園駅周辺の3班に分かれて実施しました。

表 視察対象施設・経路

	【A班】北戸田駅周辺	【B班】戸田駅周辺	【C班】戸田公園駅周辺
鉄道駅	北戸田駅(改札外) 駅前交通広場(東口・西口)	戸田駅(改札外) 駅前交通広場(西口)	戸田公園駅(改札内外) 駅前交通広場(西口)
道路	市道	市道	県道・市道
建築物	商業施設	戸田市役所 商業施設	上戸田地域交流センター あいパル 戸田公園駅前行政センター 医療施設
都市公園等	北部公園(野球場)	後谷公園	_

3. 意見の概要

意見交換における主な意見を以下に示します。

① 北戸田駅班【A班】

北戸田駅 (改札外)	・通路が全体的に暗い。・車いすやベビーカーでも通れる拡幅改札が複数あると良い。・改札口の横に案内図があるが、わかりにくい。
北戸田駅前交通広場(東口・西口)	 ・車いす使用者用トイレのドアの前が坂になっており、かつサインのポールがあり使いにくいと感じる。 ・バスやタクシーの乗り場に関する案内がない。(東口) ・バス停留所・タクシー乗り場に屋根があるので良い。車道側にも少し張り出していると雨が吹き込んでこないのでなお良い。(東口) ・ベンチが多く設置されているので良い。
道路(市道)	・セミフラットの縁石が舗装と同系色に見えてわかりにくい。(弱視)・歩道内の障害物(電柱が車道側・民地側にあり、植栽マスもある)が多く、歩きにくい。(商業施設付近)・車止めが舗装と同系色でわかりにくく、つまずくことがある。・音響式信号機があると良い。
商業施設	・車いすでも顔が見える高さのカウンターになっていて良い。・エレベーターに鏡がついているのは良いが、もう少し大きい方が床の荷物などが見えるので良い。・施設の出入口に、インターホンがあり人が呼べるようになっているのは良い。
北部公園	 ・出入口はスロープ対応になっているが、段差や自転車進入防止用の柵があり、入りにくい。 ・スロープ途中に踊り場があると良い。 ・階段に手すりがないため、高齢者は怖く感じる。 ・トイレの男・女や車いす使用者用トイレの機能が図記号で示されているため、わかりやすい。

② 戸田駅班【B班】

戸田駅(改札外)	 ・駅員がいる改札口が狭く、車いすだと腕がぶつかる。 ・路線図は券売機の上のみではなく、目線の高さにあると良い。 ・東口・西口の案内表示が紙媒体でコントラストもなく見えにくく、公共・福祉施設への案内もない。 ・駅周辺地図の掲示位置が改札を出てすぐにあるため、ベビーカーを止めて見づらい。
戸田駅前交通広場 (西口)	 ・駅の出入口から乗降場まで屋根が続いていると雨に濡れずに移動できるため良い。(外出意欲にも影響してしまう) ・公衆トイレの開閉ボタンの位置が出入口に近すぎるため、ドア付近で押しても扉が閉まらない。中はきれいで良い。 ・駅前交通広場の開発にあたって、デザインや景観を優先するのではなく、当事者意見を反映し、ユーザビリティに配慮した事業開発としてほしい。
道路(市道)	 ・戸田駅東口交差点付近に設置されている誘導用ブロックの色が黄色ではなく、歩道と同色のため見えない(気づきにくい)。 ・市役所南通りの歩道は広くて良いが、舗装がブロック状のため凹凸がある。 ・五差路通りは側溝蓋のがたつきが多く、車いす、ベビーカー、高齢者は移動しにくい。 ・後谷公園に向かう歩道の幅員は車いすでは通行できない狭さであり、植樹の根による凸凹や不陸が多く、つまずく危険がある。 ・駅から公共施設までの継続的な案内がない。初めて訪れる人のために案内があると良い。(特に避難所に関する案内は重要) ・マウントアップされていないバス停が散見された。車いすの乗降用スロープの勾配が急になってしまう。高齢者等の乗降にも影響する。
戸田市役所	 ・西側の出入口にある玄関マットが滑りやすく、通りづらい。 ・2階にしか案内所がない。1階に案内所の案内があると良い。 ・東口のエレベーターが狭くて車いすの回転ができない。(障がい者用駐車ますがあるのは東口のため、車いす使用者がよく利用するのは東口) ・多機能トイレ、一般用トイレのブースが狭い。
商業施設	・出入口の勾配が急である。・エレベーターの床がカーペットなので車いすでは重くて移動が大変である。・子ども連れの利用が多いため、子育て用の設備がもう少しあると良い。・視覚障がい者用の介助の呼び出しボタンがあると良い。
後谷公園	・園路は車いすやベビーカーでも通りやすい舗装である。・園内の案内図はわかりやすいが、出入口の名称がない。・昼間はトイレの照明が点かないため暗くて怖い。防犯上あった方が良い。

③ 戸田公園駅班【C班】

戸田公園駅 (改札内外)	 ・階段がある場所はホームが狭いので、一方通行にするなど安全に配慮できると良い。 ・エレベーターやトイレは車いすでも使いやすい。 ・券売機の呼出しボタンに蓋が付いていて、触ってもよくわからなかった。説明を受けて使い方が理解できた。 ・2階の通路部の西口側は、誘導用ブロックの設置位置が壁側に寄りすぎており、壁との間隔が非常に狭い。介助者が壁側になると視覚障がい者が誘導用ブロックを利用できないので、立ち位置を入れ替えなければならない。
戸田公園駅前交通広 場(西口)	・電動車いすでは問題はないが、ブロック舗装のがたつきは、手動車いす使用者には気になるかもしれない。・障がい者用乗降場は、十分な幅が確保されており屋根もあるため使いやすそう。・マウントアップ形式になっていないバス停留所がある。
道路(県道・市道)	・歩車道境界ブロックに溝が彫ってあるタイプがあったが、白杖ではわかりにくい。・誘導用ブロックと舗装の色が近い場所が多く、弱視の人はわからない。・施設入口前の歩道に置いてある段差解消スロープは、車いす使用者が転倒することもあるので危ない。
上戸田地域交流 センターあいパル	 ・受付前の誘導用ブロック上に看板や高齢者用の机が置いてあり、視覚障がい者が受付まで行けないようになっていた。 ・階段は段が低めで登りやすく、段鼻は強調され、ゴムもついており安全。 ・多機能トイレは女性トイレ側にあることが多く、男性は入りづらいので中央にあると良い。 ・障がい者用駐車施設は1台分しかないが、利用者が多いのでもう少しあると良い。
戸田公園駅前 行政センター	 ・1階出入口は階段とスロープになっているが、車いすが転回するための空間が狭く、転落の危険があるため、注意喚起が必要である。 ・1階車いす対応トイレにベビーシートと記載があるが、ベビーチェアしかなかった。 ・建物の入口部しか誘導用ブロックがなかったので、建物内では案内してくれる人がいると良い。
医療施設	 ・車いすが待機できる待合スペースがなく、それぞれ使える空間を利用している。 ・館と館の間の移動の際バリアフリー化されているところは限られているので、移動できる箇所の案内があると良い。 ・院内に誘導用ブロックはなかったが、困った時は職員の人に伝えるといつもすぐに対応してもらえるため良い。